科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER71 1A6 English Reading			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 教授　　木下　千花		
群	外国語科目群	分野(分類)			使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・前期	曜時限	金4	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

レイチェル・カーソンのSilent Spring (New York: Penguin Classics, 2000)を毎週15-20ページ程度のペースで1学期かけて読む。E-learning(PandA)を通しての質問、授業での発表とディスカッション、映像クリップを使った解説・紹介を通して、含意の取りにくい洗練された表現や文化的な背景についての疑問を解消し、英語表現についての理解を深める。

[到達目標]

・一般読者を対象として書かれた英語をある程度まとまった量読むことで、英語を和訳せず英語として理解する力を培う。
・英語で質問や要約を書くことでアカテミック・ライティングに繋がる英語理解を目ざす。

[授業計画と内容]

・英語圏の大学の一般教養科目で読む程度の英語に触れ、最初は無理矢理でも量を読み、理解力を培う。

授業計画は以下の通り。ただし、あくまで予定なので、変更する可能性がある。
第1回自己紹介、教科書および授業の進め方の説明
第2回 Afterword, and Ch. 1-2
第3回 Ch. 3
第4回 Ch. 4-5
第5回 Ch.6
第6回 Ch. 7
第7回 Ch.8
第8回 Ch. 9
第9回 Ch.10
第10回 Ch. 11-12
第11回 Ch. 13
第12回 Ch. 14
第13回 Ch. 15-16
第14回 Ch. 17
《期末試験》
第15回 フィードバック

・履修者は、第2-14回は毎回上記の指定部分を読んで予習してくること(「授業外学修」参照)。
・合計2回はグループ・プレゼンテーションを行う。プレゼン自体は英語でも日本語でもかまわないが、パワーポイントは英語で作成すること。
・第3-14回の間で1回はEssayが回ってくる。100語程度でその週の部分を要約し、300語程度で自ら

英語リーディング ER71(2)へ続く↓↓↓

の見解を述べ、PDFで提出する。
・授業中は積極的に授業に参加すること。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

授業への積極的な参加: 20%
課題（質問・プレゼンテーション、Essay）: 40%
One Minute Talk: 10%
期末試験: 30%

・正当な理由や事前の相談なしにプレゼンテーション担当回の授業を無断欠席した者は、上記「課題」のプレゼンテーション点のみならず、「授業への積極的な参加」（20%）からも大幅に減点する。

[教科書]

Rachel Carson 『Silent Spring』（Penguin Classics）ISBN:0141184949

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習:
毎週、範囲(15-20ページ程度)を読む。和訳はしないこと。
・非常に重要である/興味深いと思った文には何らかの印をつけるか、書き出す。
・「要するにこういうこと」という簡潔なメモを英語もしくは日本語で適宜余白に書き入れる(もしくはノートに書き出す)のは効果的。
・一方、意味不明の文があれば、辞書を引いて単語の意味を調べ、構文と前後の意味を再確認する。

・それでも意味がわからない文には印をつけるか書き出すかし、授業中に質問する。
プレゼンテーション(1人2回/学期を予定)：
・「予習」をしたうえで、該当回の内容についてグループ・プレゼンテーションを行う。詳細は第1週に説明する。

要約(1人2回/学期を予定)：
・「予習」をしたうえで、一学期1回は該当回の内容について英語でEssayを書き、授業開始時までにPDFでPandA上に提出する。書式などについては第1週に説明する。

One Minute Talk （1人1回／学期）：事前に準備したうえで、1分間の英語でのトークを行う。

[その他（オフィスアワー等）]

PandAを予習および授業中に使用する。インターネット、電子メールも使えることが望ましい。これらのツールをどうしても使用できない事情がある履修者は、相談すること。